

Well-beingアンケート_Vol.3 集計結果

2023/05/12



伊藤超短波株式会社

CHO室

回答集計

【実施日】

- 2023年04月03日～24日
※前回集計：2022年07月29日

【回答率】

- 対象者：310名
- 回答数：**285名**
- 回答率：**91.93%(小数点第三位切り捨て)**

【人数構成(回答者)】

- 男性：194名 68.07%(小数点第三位切り捨て)
- 女性：91名 31.92%(小数点第三位切り捨て)

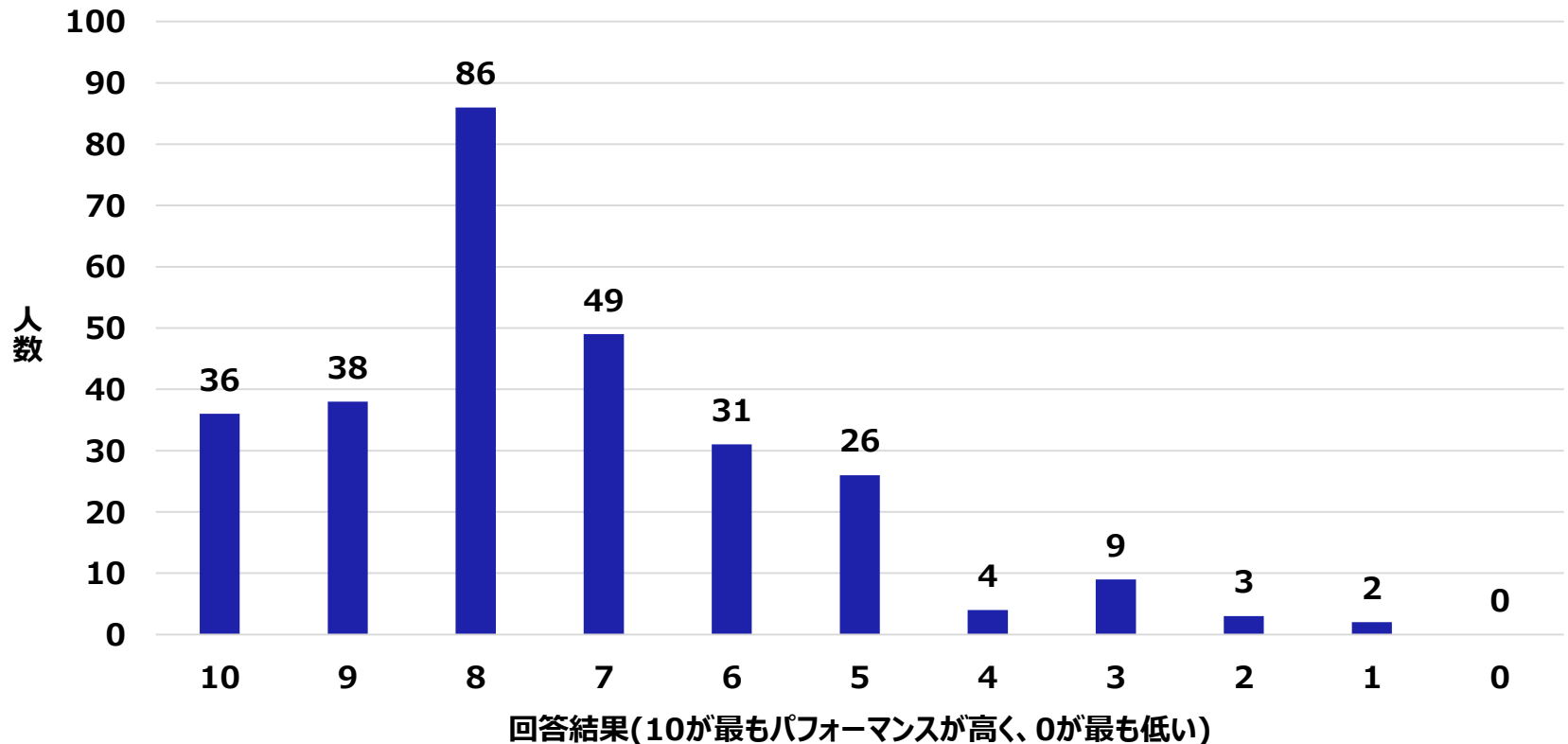
【年齢構成】

- 年齢：20代_43名(内訳 男性：29名 女性：14名)
30代_73名(内訳 男性：54名 女性：19名)
40代_93名(内訳 男性：60名 女性：33名)
50代_61名(内訳 男性：39名 女性：22名)
60代_15名(内訳 男性：12名 女性：3名)

プレゼンティーイズム①

- プレゼンティーイズムは企業の生産性を測る指標の1つです
「何らかの疾病や症状を抱えながら出勤し、業務遂行能力や生産性が低下している状態」を指します
- **【計測方法】**東大1項目版
- **【設問内容】**病気や怪我、精神的不調がない時に発揮出来る仕事の出来を「10」として、過去半年間の自身の仕事を評価して下さい(0～10の11段階)
- **【結果】**下記グラフを参照

プレゼンティーイズム(n=285人)



プレゼンティーイズム②

【プレゼンティーイズムの算出方法】

① 計算式：実数値 ÷ 最大理論値

② 実数値

前頁のグラフを基に、「回答数値×人数」を算出し、全ての値を合計した数値を実数値とする

$$(10 \times 36) + (9 \times 38) + (8 \times 86) + (7 \times 49) + (6 \times 31) + (5 \times 26) + (4 \times 4) + (3 \times 9) + (2 \times 3) + (1 \times 2) + (0 \times 0) = 2104$$

③ 最大理論値

回答者全員が「10」と回答した場合の数値を最大理論値とする

$$(10 \times 285) = 2850$$

④ ①の式に各数値を当て嵌めて計算すると

$$2104 \div 2850 = 0.73824561 \dots$$

となる為、**73.82%**(小数点第三位切り捨て)がプレゼンティーイズムのスコアとなる

※最大は100%とする

(100%の場合、回答した従業員全員が最大のパフォーマンスを発揮出来ている状態を指す)

プレゼンティーイズムスコア	73.82% (0.76%下降)
前回計測値	74.58% (2022/07/29)

※前回計測値も同様の計算方法で算出

アブセンティーイズム

- アブセンティーイズムは企業の生産性を測る指標の1つです
「従業員が会社を病欠・病気休業している状態」を指します
- 【計測方法】東大1項目版
- 【設問内容】過去半年間、有給休暇を除き、あなた自身の病気や怪我、精神的不調で何日休みましたか？
- 【結果】578.5日

アブセンティーイズム	過去半年間の集計(n = 285)
総欠勤日数	578.5日(33日減)
前回集計	611.5日(2022/07/29)
損失額	約9,625,462円
1人当たりの損失額	約29,345円

【アブセンティーイズム損失額の算出方法】

(従業員平均月給額×12)÷稼働日((計画年休・特別休暇を除く)×総欠勤日数で算出

ワーク・エンゲージメント①

- ワーク・エンゲージメントは仕事に関連するポジティブで充実した心理状態として
 - ★活力：「仕事から活力を得ていきいきとしている」
 - ★熱意：「仕事に誇りとやりがいを感じている」
 - ★没頭：「仕事に熱心に取り組んでいる」の3つが揃った状態を指し、労働者にとって「働きがい」のある状態と定義されます
- **【計測方法】** UWES(Utrecht Work Engagement Scale)尺度9項目版
- **【設問内容】** 下記の9つの設問に対し0～6の数値で回答

- ①**活力 1**：仕事をしていると、活力がみなぎるように感じる
- ②**活力 2**：職場では、元気が出て精力的になるように感じる
- ③**熱意 1**：仕事に熱心である
- ④**熱意 2**：仕事は私に活力を与えてくれる
- ⑤**活力 3**：朝に目が覚めると「さあ仕事へ行こう」という気持ちになる
- ⑥**没頭 1**：仕事に没頭している時、幸せだと感じる
- ⑦**熱意 3**：自分の仕事に誇りを感じる
- ⑧**没頭 2**：私は仕事にのめり込んでいる
- ⑨**没頭 3**：仕事をしていると、つい夢中になってしまう

《選択肢》

- 「6：いつも感じる(毎日)」
- 「5：とてもよく感じる(1週間に数回)」
- 「4：よく感じる(1週間に1回)」
- 「3：時々感じる(1ヶ月に数回)」
- 「2：滅多に感じない(1ヶ月に1回以下)」
- 「1：ほとんど感じない(1年に数回以下)」
- 「0：全くない」

- **【結果】** 次頁を参照

ワーク・エンゲージメント②

【ワーク・エンゲージメントの算出方法】

① 活力・熱意・没頭

各項目に対する3つの設問の回答数値(0が最小で6が最大)の合計の平均値を算出

活力：合計値(**2683**)÷回答数(285×3)=**3.1380**…(小数点第三位切り捨て)

熱意：合計値(**3101**)÷回答数(285×3)=**3.6269**…(小数点第三位切り捨て)

没頭：合計値(**2854**)÷回答数(285×3)=**3.3380**…(小数点第三位切り捨て)

② 総合

活力・熱意・没頭の合計値の合計を回答数の合計で割って算出

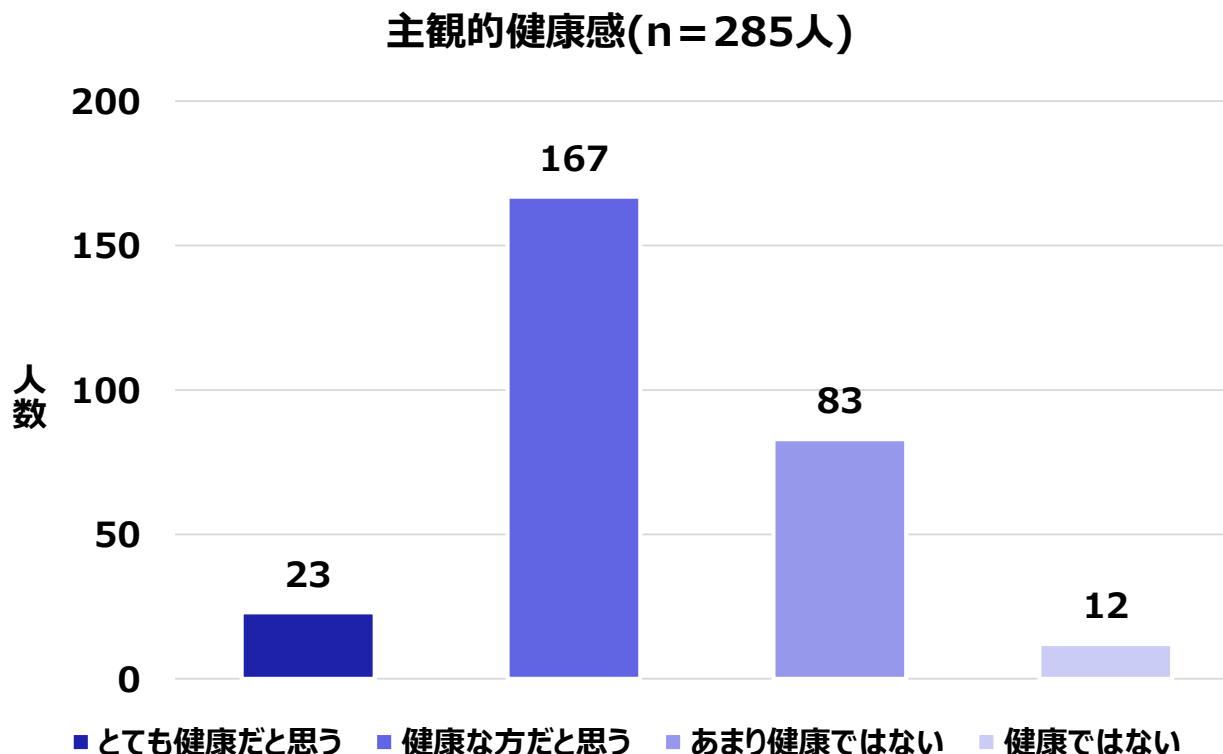
(**2683 + 3101 + 2854**)÷(855×3)=**3.3676**…(小数点第三位切り捨て)

n=310人	活力	熱意	没頭	総合
全体	3.13	3.62	3.33	3.36
前回	3.16	3.70	3.33	3.40

※前回計測値も同様の計算方法で算出

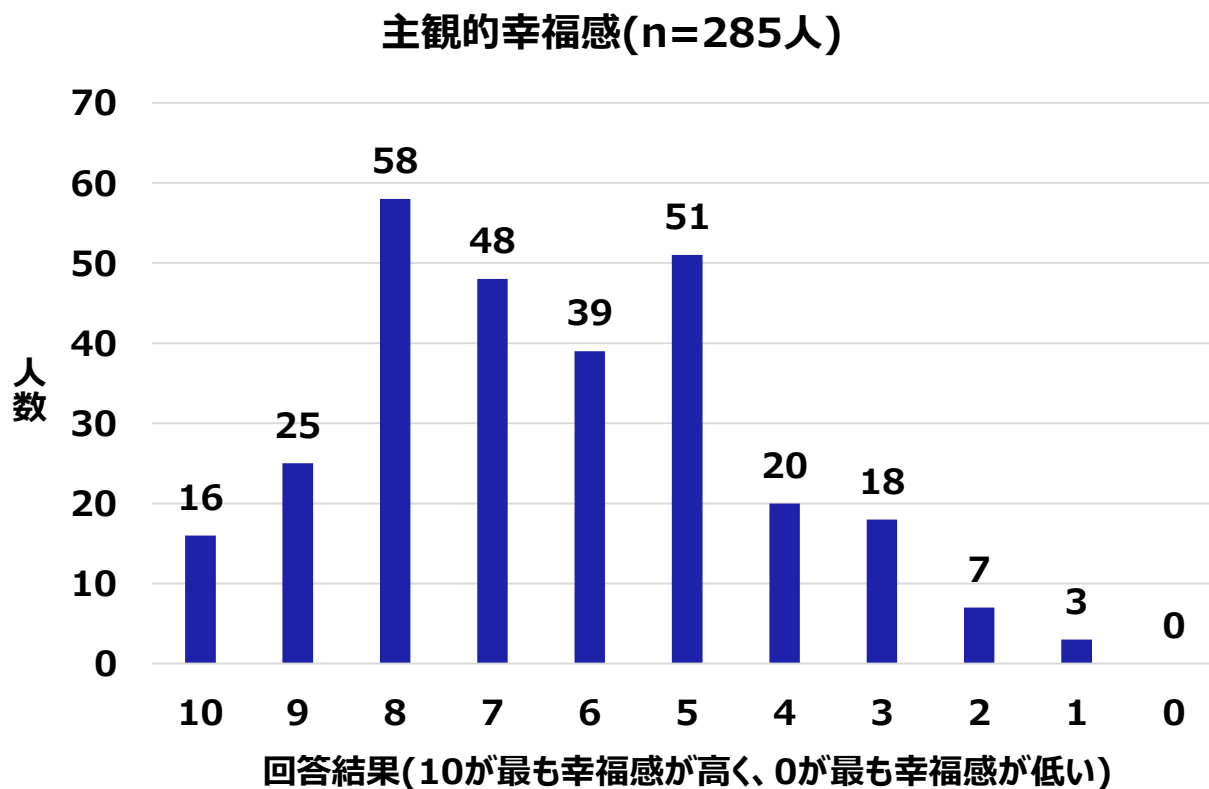
主観的健康感

- 主観的健康感は医学的な健康状態ではなく、自らの健康状態を主観的に評価する指標であり、死亡率や有病率等の客観的指標では表せない全体的な健康状態を捉える健康指標です
- 【計測方法】伊藤超短波オリジナル
- 【設問内容】あなたは普段、健康だと感じていますか？
上記設問に対し「とても健康だと思う」「健康な方だと思う」「あまり健康ではない」「健康ではない」の4つの選択肢から1つを回答
- 【結果】下記グラフを参照



主観的幸福感

- 主観的健康感とは感情状態を含み、家族や仕事など特定の領域に対する満足や人生全般に対する満足を含む広範な概念です
- 【計測方式】伊藤超短波オリジナル
- 【設問内容】現在、あなたはどの程度幸せですか？「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点になるとお考えですか？(0～10の11段階評価)
- 【結果】下記グラフを参照



ヘルスリテラシー①

- ヘルスリテラシーとは健康面での適切な意思決定に必要な、基本的健康情報やサービスを調べ、得、理解し、効果的に利用する個人的能力の程度を意味します
- **【計測方式】** CCHL(Communicative and Critical Health Literacy)尺度
- **【設問内容】**あなたは、もし必要になったら、病気や健康に関連した情報を自分自身で探したり使用したりすることが出来ると思いますか？下記の5つの設問に対し1～5の数値で回答

- ①**情報収集力**：新聞・本・テレビ・インターネットなど、色々な情報源から情報を集められる
- ②**情報選択力**：たくさんある情報の中から、自分の求める情報を選び出せる
- ③**情報判断力**：情報がどの程度信頼出来るかを判断出来る
- ④**情報伝達力**：情報を理解し、人に伝えることが出来る
- ⑤**自己決定力**：情報をもとに健康改善の為の計画や行動を決めることが出来る

《選択肢》

- 「5：とてもそう思う」
- 「4：まあそう思う」
- 「3：どちらでもない」
- 「2：あまりそう思わない」
- 「1：全くそう思わない」

- **【結果】**次頁を参照

ヘルスリテラシー②

【ヘルスリテラシーの算出方法】

① 「情報収集力」「情報選択力」「情報判断力」「情報伝達力」「自己決定力」

各設問の回答の数字を合計し、回答数で割って平均値を算出

情報収集力：合計値(1183)÷回答数(285)=4.1508…(小数点第三位切り捨て)

情報選択力：合計値(1106)÷回答数(285)=3.8807…(小数点第三位切り捨て)

情報判断力：合計値(1032)÷回答数(285)=3.6210…(小数点第三位切り捨て)

情報伝達力：合計値(1062)÷回答数(285)=3.7263…(小数点第三位切り捨て)

自己決定力：合計値(1023)÷回答数(285)=3.5894…(小数点第三位切り捨て)

CCHL尺度(5項目)	今回集計	前回集計
情報収集力	4.15	4.20
情報選択力	3.88	3.97
情報判断力	3.62	3.70
情報伝達力	3.72	3.65
自己決定力	3.58	3.67

※各項目 最大値：5 最小値：1

② ヘルスリテラシーのスコア

5つの項目の平均値を合計した数値を

ヘルスリテラシースコアとして算出

4.15 + 3.88 + 3.62 + 3.72 + 3.58 = **18.95**

※最大値：25 最小値：5

ヘルスリテラシー	スコア
今回	18.95
前回	19.19

肩こり

① 「肩こりの症状の有無」と「肩こりの生活への影響」

肩こり	ある	%
症状の有無	197	69.12
日常生活に支障がある	29	10.17
日常生活に支障はないが症状が気になる	97	34.03
症状はあるが気にならない	45	15.78
支障はない	25	8.77

② 肩こりによるパフォーマンスの低下率

【設問】肩こりによって仕事のパフォーマンスはどの程度低下していますか？

パフォーマンス低下率	人数	%
90%以上	0	0
70%～90%未満	2	1.01
50%～70%未満	7	3.55
30%～50%未満	34	17.25
10%～30%未満	66	33.5
10%未満	86	43.65

腰痛①

① 「腰痛の症状の有無」と「腰痛の生活への影響」

腰痛	ある	%
症状の有無	152	53.33
日常生活に支障がある	24	8.42
日常生活に支障はないが症状が気になる	77	27.01
症状はあるが気にならない	38	13.33
支障はない	12	4.21

② パフォーマンスの低下率

【設問】腰痛によって仕事のパフォーマンスはどの程度低下していますか？

パフォーマンス低下率	人数	%
90%以上	0	0
70%～90%未満	1	0.65
50%～70%未満	12	7.89
30%～50%未満	29	19.07
10%～30%未満	45	29.6
10%未満	65	42.76

腰痛②

③ 腰痛の痛みのスケール分布

設問：腰痛の痛みのスケールを0～10で表すとどのレベルですか？

痛みのスケール	人数	%
0(痛みがない)	0	0
1	7	4.6
2	34	22.36
3	29	19.07
4	21	13.81
5	23	15.13
6	19	12.5
7	10	6.57
8	8	5.26
9	0	0
10(想像できる最大の痛み)	1	0.65

睡眠①

① 睡眠時間の分布

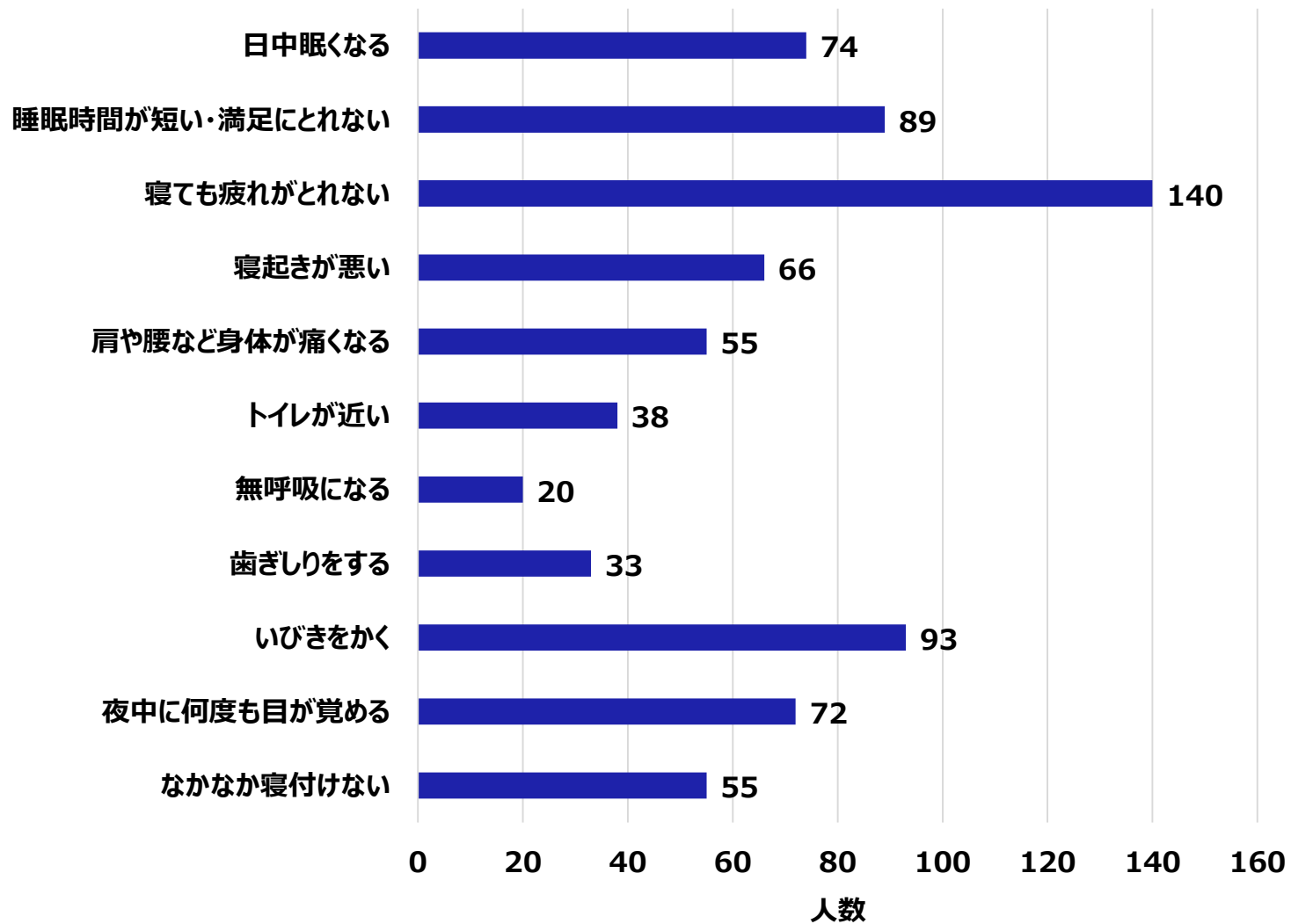
平均睡眠時間	人数	%
8時間以上	3	1.05
7時間程度	64	22.45
6時間程度	129	45.26
5時間程度	60	21.05
4時間程度	23	8.07
3時間以下	6	2.10

② 睡眠状況によるパフォーマンスの低下率

パフォーマンス低下率	人数	%
90%以上	5	1.75
70%～90%未満	5	1.75
50%～70%未満	26	9.12
30%～50%未満	60	21.05
10%～30%未満	92	32.28
10%未満	97	34.03

睡眠②

③ 睡眠の質に関する課題感



2022年度_健康サポート制度利用率及び利用額

【健康サポート制度とは】

従業員の健康に対する関心や意識を高める為に導入している福利厚生です。

各種制度内容は企業HPの「健康経営取り組み内容」をご覧ください。

<https://www.itolator.co.jp/health-management/effort.html>

健康サポート制度種類	件数	補助金額
健康診断オプション検査費用	144件	1,128,052円
人間ドック費用補助	185件	1,042,118円
歯科健診費用補助	175件	431,433円
スポーツ競技費用補助	34件	128,220円
ウォーキングシューズ購入費用補助	99件	737,801円
ウェアラブルデバイス購入費用補助	15件	74,433円
姿勢矯正器具購入費用補助	28件	102,646円
健康アイテム購入費用補助	73件	178,336円
各種施設利用料補助	72件	96,413円
ウォーキング特別ボーナス制度	49件	188,000円
総数	874件	4,107,452円

※総件数前年比：133.2% 総額前年比：124.9%

2022～23年度_Well-beingセミナー参加率

【Well-beingセミナーとは】

従業員のヘルスリテラシー向上を目的とした、社内向けセミナー(健康教育)です。

セミナーは録画し、従業員ならいつでも視聴出来るようアーカイブ化しています。

セミナー名	参加人数(事前アンケートより)
Well-beingセミナー_Vol.1温活①	131名
Well-beingセミナー_Vol.2温活②	87名
Well-beingセミナー_Vol.3温活③	94名
Well-beingセミナー_Vol.4フェムテック	50名
Well-beingセミナー_Vol.5歯科①	83名
Well-beingセミナー_Vol.6血糖値①	75名
Well-beingセミナー_Vol.7歯科②	79名
Well-beingセミナー_Vol.8血糖値②	62名
Well-beingセミナー_Vol.9肝臓	73名
Well-beingセミナー_Vol.10肩こり腰痛改善	116名
Well-beingセミナー_Vol.11腸内環境①	81名
Well-beingセミナー_Vol.12歯科③	動画配信の為未集計
Well-beingセミナー_Vol.13腸内環境②	66名
Well-beingセミナー_Vol.14夏場のリカバリー	61名